
第1回 日野市介護保険運営協議会
第1回 日野市地域包括支援センター運営協議会
第1回 日野市在宅高齢者療養推進協議会
第1回 日野市地域密着型サービス運営委員会

要 点 録

[日 時] 令和元年5月15日(水) 18:30～20:30

[場 所] 日野市役所5階 505会議室

[内 容]

【開会のあいさつ】

≪介護保険運営協議会≫

【報告】

(1) 第4期日野市高齢者福祉総合計画のための基礎調査項目の検討について

【議事】

(2) 第3期日野市高齢者福祉総合計画の進行管理について(平成30年度実績、令和元年度実施計画)

≪在宅高齢者療養推進協議会≫

【報告】

(3) 日野市在宅療養体制構築のための基本方針策定について

≪地域密着型サービス運営委員会≫

【報告】

(4) 認知症対応型共同生活介護事業者の公募選定結果について

【資料】

- ・ 次第
- ・ 議事録(要旨): 平成30年度第3回分
- ・ 【資料1】 第4期日野市高齢者福祉総合計画のための基礎調査項目の検討について
- ・ 【資料2】 第3期日野市高齢者福祉総合計画進行管理表(平成30年度実績)
- ・ 【資料3】 第3期日野市高齢者福祉総合計画進行管理表(令和元年度実施計画)
- ・ 【資料4】 第3期日野市高齢者福祉総合計画の各事業の平成30年度実績(重点事業を除く)
- ・ 日野市在宅療養体制構築のための基本方針 概要版
- ・ 日野市在宅療養体制構築のための基本方針
- ・ 日野市在宅療養体制構築のための基本方針策定にかかるアンケート調査報告書

[議事要旨]

開会

- ・委員数 17 人中 12 名出席。半数以上の出席のため会議成立。
- ・会議の内容について正確を期するため録音をさせていただく。
- ・議事録については要点録として公表させていただく。

≪介護保険運営協議会≫

1 第4期日野市高齢者福祉総合計画のための基礎調査項目の検討について（報告）

（1）事務局より説明

（2）質疑応答

- 委 員：今回は調査項目が多く回答者の負担となり回収率が低かったという事だが、今回の調査では項目はどのくらい絞った方がいいのか。
- 事務局：特に、要介護者向けのアンケート回収率が45%と低かったので項目数を減らす必要があると考えている。また、要支援者向けも項目が多いと考えている。
- 委 員：調査票が市民に届くと、お役所言葉が理解できないとかどう回答すればいいのか分からないとか、かなりの質問があり、回答と一緒に作成することもある。調査票については分かりやすい、見やすい工夫をしてもらいたい。
- 事務局：貴重なご意見として参考にさせていただく。
- 委 員：調査項目を検討するにあたっては、前回調査と比較して今回削除した質問や追加した質問が分かるようにしてもらいたい。
- 事務局：前回と今回の相違が分かるように、見比べられるような形でお示しできるよう検討する。

2 第3期日野市高齢者福祉総合計画の進行管理について（平成30年度実績、令和元年度実施計画）（議事）

（1）事務局より説明

（2）質疑応答

- 委 員：達成状況の考え方だが、事業を実施していれば達成なのか。二重丸（進んだ）になっていても、課題がある、問題があると評価している事業がある。
- 事務局：年次計画に基づいて、計画通り又は計画以上に実施できたものは二重丸にしている。事業を実施する中での課題や問題も含めて「達成状況」に反映するには考え方を統一する必要がある。今後の課題だと考える。
- 委 員：昨年度は介護人材確保のために、介護資格を持っていない方向けの研修を開催しているが、今年度も実施するのか。
- 事務局：今年度も前期・後期の2回実施する。昨年は人が集まらなかったという課題があったので、今年度は土日に実施する予定。
- 委 員：保健師の専門性を生かした在宅療養支援の充実とあるが、保健師とは国家資格なのか？どんな機関に保健師がいるのか？
- 事務局：保健師は国家資格。市役所や保健所などに配置されている。日野市役所に

も様々な部署に保健師が配属されており、各部署の保健師間でネットワークをつくり、専門職の連携を図るという取り組み。

委員：見守り推進員の数が増えていない理由は何か。また、増えていないにも関わらず令和元年度の目標値ではさらに人数が増えているが、見直しはしないのか。

事務局：包括等から声をかけているが伸び悩んでいる。30年度の結果から考えると今年度の目標値は高いかもしれないが、目標としたい。見守り推進員の業務は、1ヶ月に1度の安否確認や1週間に1回様子を伺うなどの緩やかな見守りだが、監視されているような印象があると意見があったり、利用者の死亡や入院等で利用者が減ったりということもある。

委員：(見守り推進員の利用者減については)配食弁当の利用者が増えているので、そこでの見守りに移っているのではないか。他にも介護認定を受けて介護サービスを利用するなどがある。その中でも見守り推進員を希望する人もいる。推進員の高齢化も課題であるが、推進員が生きがいをもってやっている場合もある。ただ、1対1の見守りは限界があるのではないか。

委員：大変貴重な意見。配食などの業者を中心とする見守り等、見守りの形は多元化している。その中で推進員を目標値としてどう設定していくかということが問題。

委員：生活支援体制整備事業について、第1層協議体、第2層協議体とあるが、第3層は第2層になったという考えで良いのか？

事務局：第1層は平成30年度に実施。第2層は今年度に4圏域作る。来年度以降は第2層を4圏域から9つに広げていくということ。

委員：摂食嚥下機能支援の推進について、30年度の実績で医療につながったケースがなかったのに、今年度、広報活動のみで実績が出るのか疑問。

事務局：30年度については、3包括のみで試験的に運用を開始した。年度の途中から対象年齢を74歳まで拡大した。翌年度は市内全域で実施するので30年度とは違う結果が得られると考えている。

委員：利用者から名乗り出てもらおう待ちの姿勢ではなく、患者と接している医療関係者や介護関係者からの吸い上げをした方が実効性があるのではないか？

事務局：健康課主催で会議体を開いているので、その場で意見を挙げ検討する。

委員：在宅療養介護連携支援センター設置のイメージが今ひとつ沸かない。組織上どこに位置づけられているのか？委託でやるのか？

事務局：在宅療養支援課の中で運営をしていきたい。相談員を配置し、専門職の支援を行う。市民の方の相談は、まず包括で受ける事と整理していく。

委員：徘徊高齢者支援策の実施計画に記載がある「IOT」の意味が分からないので具体的に説明をいただきたい。

事務局：IOTは物とインターネットをつなぐ仕組み。現在実施しているGPSなどの徘徊支援に代わるシステムとして検討している。

委員：IOTの実践事例などは具体的に あるか

事務局：SOS シールというのがある。ID や連絡先が分かるシール。SOS シールを付けている人が行方不明になった場合、アプリをダウンロードしている人がその方を見つければ家族に連絡できるシステム。相模原市や八王子市で実証実験を実施中。

《在宅高齢者療養推進協議会》

3 日野市在宅療養体制構築のための基本方針策定について（報告）

- （１）事務局より報告
- （２）質疑応答 なし

《地域密着型サービス運営委員会》

4 認知症対応型共同生活介護事業者の公募選定結果について（報告）

- （１）事務局より報告
- （２）質疑応答

委員：意見を聴取した際に看取りに関する話はあったか？グループホーム（GH）は看取りが出来る場合と出来ない場合がある。

事務局：選定委員会で質問させていただいた。応募してきた事業者については「対応している」との回答があった。

委員：選定委員会について補足すると、看取りの対応や切れ目の無い支援等についても質問をした。評価基準の検討や事前の書類点検等にかなり時間を割き、厳正に審査させていただいた。ヒアリングにおいても予定の時間を越えて総合的な観点から確認した。

委員：災害等の安全管理はどういう想定をしているか？

事務局：決定した開設場所が浅川のすぐ脇のため、浸水被害を想定している。対策としては、開設場所の近隣に事業者の他の拠点があるため、そこへの搬送等を想定している。

委員：認知症の方は本人の体調を訴えられない場合があるが、必ず医療は必要になってくる。医療が必要となった際の想定はしているか？

事務局：応募書類上で医療との連携を記載して貰っている。具体的な連携先については開設までに整えていく。

委員：市内の GH 待機者はどの程度いるのか？

事務局：平成 30 年 10 月時点のデータでは、市内各施設で 5 人程度の待機者が居る。

委員：GH には看護師はいないのか？

事務局：GH では、看護師の配置義務は無い。

委員：看護師については設置義務がないからこそ医療機関とのネットワークが重要となるため、ヒアリングで確認させていただいた。選定委員会では設置基準をクリアした上で、実績、財政面、人員、避難確保、居室のスペース、プライバシーなど総合的な観点でヒアリングを行い採点した。

＜＜地域包括支援センター運営協議会＞＞

議事、報告事項、質疑なし。

その他全体を通しての質疑について

なし

＜＜事務連絡＞＞

- ・ 次回日程について

令和元年度は8月23日、11月8日、2月19日を予定している。

- ・ 今後は基礎調査項目を確定していくことになる。ぜひ質問項目にお目通しいただきたい。